

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南の氏神様

# 河内神社報

発行所:〒731-5151広島市佐伯区五日市町上河内  
http://kochijinja.org  
河内神社社務所

上半期の災い・禍事・罪・過ちのお祓い

## 夏越神事

にお参り下さい

宮司 山田 茂雄

7月6日(日) 夏祭り・夏越神事

午後2時 河内神社

河内神社の夏祭りに、皆様、家族お揃い

でご参加ください。

日々のくらしの中  
で我々は、知ら  
ず知らずに罪・過  
ちを犯し、邪気が  
身に付きます。夏  
越神事に参加して、  
半年間の罪・穢れ  
を祓い清め、下半  
期に向けて氏神様  
の新たな力をいた  
だき、無病息災を  
祈願しましょう。



## 夏越神事のお祭りと行事

夏越大祓 罪穢れのお祓い

皆様の人形をご神前に納め、参列者全員で大祓の祝詞を唱和します。その後、切麻(麻と和紙を小さく切ったもの)を撒いて、自分の体を祓い清めます。

祓い清めの後に、お焚き上げをして、人形に移した罪や穢れを火の力で祓い除けます。

茅輪神事 無病息災の神事

茅の輪は「備後風土記」に登場します。

貧しいながらも蘇民将来は、武塔の神(素戔嗚尊)に一夜の宿を貸してもてなします。そのお礼に武塔の神は、「蘇民将来の子孫と言つて、茅の輪を腰に付けた人は疫病に罹らない」と言われました。

この話に登場する素戔嗚尊は河内神社の御祭神です(河内旧八社の一つ、日吉神



## 人形の使い方

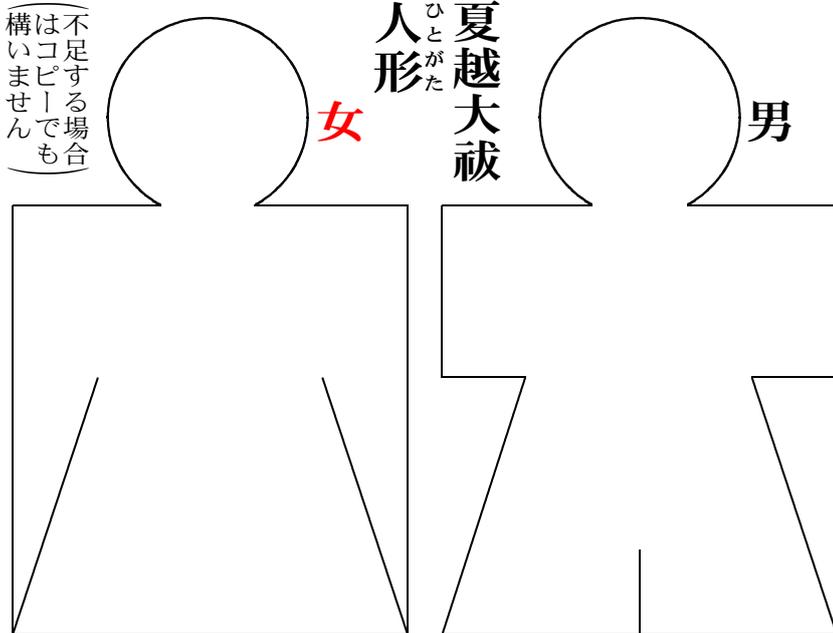
一人ごとに、①氏名・年齢を記入し、②体をさすり、③息を吹きかけて身に付いた半年間の罪や穢れを移し、④神社へ当日ご持参ください。(当日参加できない方は、事前に人形をご持参ください。ほかの方に託されても結構です。人形は当日まで社頭にも用意があります。)

人形は、事前に地区の氏子総代さんを通じて、各家庭へ配って頂きます。総代さんが不在の地区(藤の木、河内南、遥花など)の方は、本紙の人形を切り抜いてご使用ください。

## 夏越大祓 人形

女

男



(不足する場合はコピーでも構いません)

社〔権現さん〕の神様)。

茅萱でできた茅の輪を神職の先導のもと、8の字を描くように3回くぐり、「水無月の夏越しの祓えする人は千歳の命延ぶというなり」と唱えながら祓い清めて無病息災を祈ります。新しく下半期を迎えるための伝統の神事です。

茅の輪は6月22日から7月15日まで河内神社の境内に設置してあります。お参りの作法は、茅の輪に表示してあります。



### 夏祭り 初穂を供えて安寧を祈る

夏越神事後の後、参拝の皆様と拝殿に上がり、夏の暑さに負けず健康で家庭平穏に過ごせるように、また、風水害や害虫などの災害が起こらないように、河内神社の神様に、氏子の皆様から奉献されたお初穂をお供えて、お祭りを行います。

#### 神社豆知識

#### お初穂・おはつぼとは

毎年、収穫した稲穂を最初に神様にお供えたことから、神様への恒例の奉納料をお初穂といわれています。河内地域では総代さんを通じ、各家庭から、年3回500円ずつ提供頂いています(うち1回は秋祭神楽祭典料)。地域の人々が支えてきた神社にとって、貴重な財源の一つです。

## 夏の御守

—ちのわ—

御守の中央は、平安時代より前の長岡京の人々が身につけた最古の蘇民将来札で、茅の輪とともに災難除け、健康の御守とする習慣があります。また、平安末期の『拾遺和歌集』に夏越大祓の歌があり、茅輪神事とともに、長寿の神事とされています。茅の葉で輪を結び、中に入れて身につけます。茅之輪御守300円。河内神社で期間限定頒布。

### 中学生の貴重な奉仕

5月15日、月次祭の朝、地元企業への中学生の職場体験で、神社の境内地への清掃奉仕が行われました。4名の城山中学校の3年生は月次祭に参列した後、協力して落ち葉や雑草を取り除き、水路は以前とは見違えるようになりました。

中学生の問題行動が取りざたされている昨今ですが、一生懸命に作業に取り組む姿に感動した一日でした。



裏面人形切抜き紙



河内神社へのアクセス(周辺図)

河内神社

# 河内神社敬神婦人会主催 研修会開催

5月23日(金)、第一回研修会として宮島にて「御島廻りと御鳥喰式」が斎行されました。

当日は晴天のもと会員16名・一般参加34名(女性16名・男性18名)の計50名が参加。早朝7時半から船に乗り込み、午後2時に厳島神社での奉告祭で終了となりました。



# 御島廻りと御鳥喰式に参加して

河内神社敬神婦人会副会長 岸本 里子



御島廻りは、初体験でもとても神聖な気持ちになりました。晴天のもと、杉之浦神社(上陸)↓鷹巣浦神社↓腰少浦神社↓青海苔浦神社(上陸)と参拝し、いよいよ養父崎神社での御鳥喰式です。

御鳥喰式とは養父崎神社の沖200〜300mの所で、御師が祝詞を奏し、伶人が楽を奏しながら



ら楽を海上に浮かべると、楽の音につれて養父崎の杜の中から雌雄



一対の神鴉が海面をかすめて出てくる。そして楽のお団子をくわえて杜に運ぶというものです。お団子は6個乗せられていましたが、今回は4回出てきて、お団子をくわえて運ぶ姿が見せてくれ、大満足でした。もし参加者の中にはがれのある者がいれば、神鴉は出さずと聞いていたので一安心!

その後、山白浜神社↓須屋浦神社(上陸参拝)↓御床神社と廻り、網浦棧橋で下船、大元神社を参拝して、御本社厳島神社に帰り、奉告祭を終え神酒を頂くと式は終わりです。

この御島廻りに参加すると、身も心も清浄となり、益々一家が繁栄するとの言葉を聞いて、次回もまた参加したいと強く思いました。これまで知らなかった厳島神社の歴史を学びながら、御島廻り・御鳥喰式に参加し、本当に貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。

## 神社豆知識

### 正式参拝とは

拝殿に昇殿して、玉串料をお供えし、神主よりお祓いを受け、玉串を奉って、ご神前であらためて拝礼をする参拝方法です。



上河内・下河内・小深川・下小深川・藤の木河内南彩が丘の氏神様  
**河内神社のこよみ**〔平成26年下半年期〕

- 7月6日(日)午後2時 **夏祭**(夏越神事・大祓)
- 7月20日(日)午後2時 祇園祭(御旅所御神幸)
- 8月14日(木)午後7時半が 献灯祭
- 10日11日(土)午後6時半秋祭前夜祭(神楽奉納)
- 10月12日(日)午後2時 **秋祭**(例大祭)
- 11月15日 前後 七五三祭
- 12月14日(日)午後2時 **新嘗祭**(大祭)
- 12月31日(水)午後6時 除夜祭(大祓)
- 毎朝 日供祭
- 毎月1日・15日 月次祭

幸せつながる

宮司 斎藤

齋藤

### 河内地域のご祈願は河内神社で

#### 地元を守護する「幸せスポット」



〔神社での祈願祭〕  
**初宮参り**・安産祈願・**歳祝い**  
 合格祈願・就職祈願・厄祓い  
 良縁成就・七五三祭・車祓い  
 安全祈願・**商売繁盛**  
 〔現地での祈願祭〕  
**地鎮祭**(新築)・家祓い(入居)  
 神棚祭・井戸祓い・安全祈願  
 開店祭・上棟祭

不明なことや内容、日時などご相談ください。

河内神社社務所 (082)928-2283

各種御守・御札(神棚) 必勝祈願・旅行安全・良縁結び  
頒布中。御朱印も受付。〔河内神社限定〕神棚の葉御守300円



河内神社では一年を通し、豊作を祈る春祭、上半期の厄を祓う夏越神事、収穫に感謝する秋祭、一年の幸せを願う歳旦祭などのお祭りがあります。祭りを通じて皆様の幸せをつなぎます。

### これからの河内神社のお祭り

**祇園祭** 7月20日、河内神社の御祭神のうち、素戔嗚尊を元のお社(日吉神社(権現さん・旧下河内村社))にお迎えし、地区の人々を見守つてくださるようお祭りをします。

前夜には下河内集会所で神楽奉納、当日は境内で子供相撲大会が行われます。

**献灯祭** お盆の8月14日の夜、神社の拜殿に提灯を吊し、皆様の先祖の御霊をお迎えし、お祭りをします。

その後、小学校の校庭で盆踊り大会が行われます。



**例大祭(秋祭)** 今年は10月12日に、例大祭(秋祭)を執り行います。日本人の命の源、稲の収穫にあたり、豊かな実りに心を込めて感謝し、今後の御加護を祈る、大事なお祭りです。

俵御輿奉納 例大祭の後、各地を巡行した俵御輿が河内神社境内に集結します。

**前夜祭(神楽奉納)** 例大祭の前夜(今年は11日)、地元の下河内神楽団による神楽の奉納



があり、雄大な舞を披露します。河内神社には上河内神楽団と下河内神楽団があり、毎年交互に神楽が奉納されます。夜店なども出て、沢山の参拝者で賑わいます。

### 七五三詣

11月15日は七五三のお祝いの日です。氏神様にご報告し、お子様の幸福と健康を祈ります。10月中旬〜11月中頃まで受付。

### 河内神社敬神婦人会だより

神社の桜が満開の4月5日、20名参加のもと今年度の総会が行われ、行事・予算について確認しました。その後、楽しくおしゃべりしながらお花見の宴を催しました。

5月23日の研修、御烏喰式では貴重な体験をしました(3面参照)。



今後は、秋に神社拜殿の障子の貼替え、正月に甘酒を参拝者に振る舞うなどの行事が予定されています。この会は年会費2000円(総会決定)です。ともに活動を…と思われる方は、河内神社までご連絡ください。現在、会員は29名ですが、まだまだ募集中です。